

2025年度 JA県央愛川  
上半期ディスクロージャー  
(令和7年3月1日 ～ 令和7年8月31日)

# J A 綱 領

## わたしたち J A のめざすもの

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

## 目 次

### 仮決算の状況

1. トピックス	1
①上期のトピックス	1
②自己改革の取り組み	2
③地域貢献活動	2
全般に関する事項	2
地域からの資金調達の状況	4
地域への資金供給の状況	5
文化的・社会的貢献に関する事項	8
2. 貸借対照表	10
3. 損益計算書	11
4. 金融再生法開示債権	12
5. 自己資本比率	13
6. 主要勘定の状況	14
7. 有価証券時価情報	14

## 仮 決 算 の 状 況

- 農業協同組合においては、中間決算は法定化されていませんが、当組合の内部規定に基づき仮決算を実施し自主的に開示するものです。

### 1. トピックス

#### ① 上期のトピックス

- 親子「トウモロコシ収穫体験」を実施

JA グループでは、「食」がもつ多様な役割の大切さを伝える「食育」をさらにパワーアップして、「食」を支える根本である農業に関する知識・体験も含んだ「食農教育」の大切さを伝えています。

当 JA では、8 月 11 日に親子参加型の「トウモロコシ収穫体験」を実施し多くの方の参加を得て開催することが出来ました。これからも、普段、土に触れる機会が少ないお子さんを対象に農業体験を通じた食と農の大切さを伝えていきます。



- 農作業安全講習会の開催

農業従事者の高齢化や農業機械の普及による農作業事故の未然防止および安全意識を高めることを目的に、農業機械化部会を中心に農作業安全講習会を実施しました。無事故で作業を進めるために安全を優先しましょう。



- 地産地消の推進

愛川町で栽培された地元の旬野菜を手軽に美味しく味わうことが出来るレシピを、「JA だより」やインスタグラム、TVK テレビ番組「かながわ旬菜ナビ」を通じて紹介しています。



- 土壌診断研修会

農業生産コストの削減を目的に、7 月 29 日全農農産部の職員を講師に招き、土壌診断研修会を開催しました。

土壌診断の有効性や結果の見方などの講習を受け、今までの診断結果を踏まえた愛川町の土壌特性も学びました。



## ② 自己改革の取り組み

当組合では、農協法において定める「農業所得の増大への最大限の配慮」を達成するため、営農・経済事業改革、経営基盤確立・強化、組織基盤拡充・強化に資する取り組みとして、常勤役員が中心になり組合員宅へ訪問し、ご意見などを拝聴する「組合員対話訪問」や自己改革を支える経営基盤確立対策として部門別損益管理の徹底・強化などに取り組んでいます。

今後も、不安定な金利情勢等の影響により見込まれる収支環境の悪化や、農業を取り巻く情勢の変化等に対応し、「自己改革」を継続してまいります。

## ③ 地域貢献活動

### 全 般 に 関 す る 事 項

#### 協同組織の特性

当組合は、愛川町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

また、組合の総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として農業や助け合いを通じた地域貢献に努めています。

### 組合員・出資金

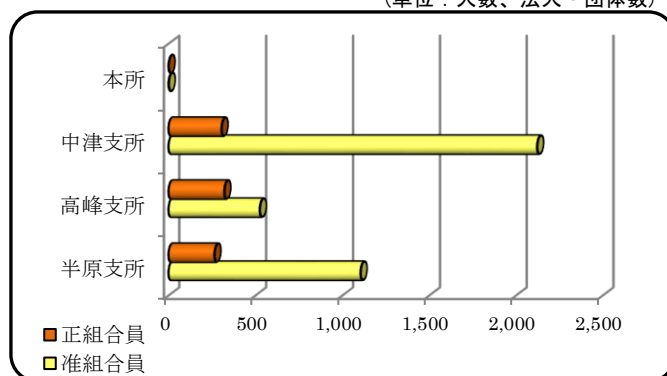
#### ○ 組合員

（単位：人数、法人・団体数）

資格区分	令和7年8月末
正組合員	892
准組合員	3,751
合 計	4,643

#### 支所別組合員の状況

（単位：人数、法人・団体数）



#### ○ 出資金

（単位：千円）

出 資 金	425,045
-------	---------

## 役員構成

(令和7年8月31日現在)

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	代表権の有無	担当その他	
				性別	
代表理事組合長	馬場 紀光	常勤	有	男	(株)県央あいかわ代表取締役 実践的能力者・認定農業者に 準ずる者
専 務 理 事	倉田 資展	〃	無	男	総務・指導経済担当 (株)県央あいかわ取締役他 実践的能力者
常 務 理 事	足立原 実	〃	〃	男	信用共済担当、実務経験者 実践的能力者
理 事	諏訪部 実	非常勤	〃	男	実践的能力者
〃	足立原 徹	〃	〃	男	実践的能力者
〃	五月女智一	〃	〃	男	実践的能力者・認定農業者
〃	畑山 英生	〃	〃	男	実践的能力者・認定農業者 に準ずる者
〃	花上美智子	〃	〃	女	実践的能力者
〃	中村 功	〃	〃	男	実践的能力者
〃	齋藤 千春	〃	〃	男	実践的能力者
〃	梅澤 貞人	〃	〃	男	実践的能力者
代 表 監 事	山田 精市	非常勤		男	
監 事	小倉 一夫	〃		男	
監 事	成井登司恵	〃		女	
常 勤 監 事	山本 誠一	常勤		男	員外監事、実務経験者 (株)県央あいかわ監査役

## 職員の状況

(単位：人)

区 分	令和7年 2月末	令和7年 8月末			増 減
			うち男	うち女	
管 理 職	37	36	31	5	△1
一 般 職 員	27	26	9	17	△1
(うち営農担当者)	( 3 )	( 3 )	( 3 )	( 0 )	(0)
(うち生活担当者)	( 1 )	( 1 )	( 0 )	( 1 )	(0)
計	64	62	40	22	△2
嘱託・パート等	29	26	8	18	△3
合 計	93	88	48	40	△5

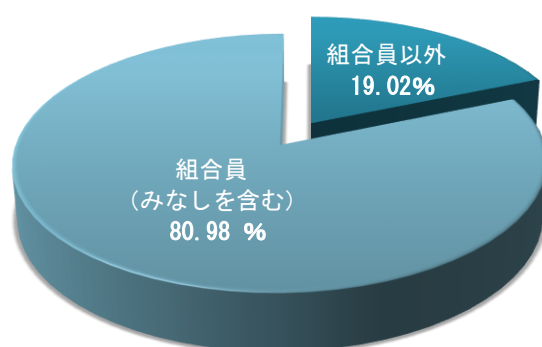
- (注) 1. 8月末職員数には8月末退職者は含みません。  
2. 子会社への出向者(12人)を含みます。

## 地域からの資金調達の状況

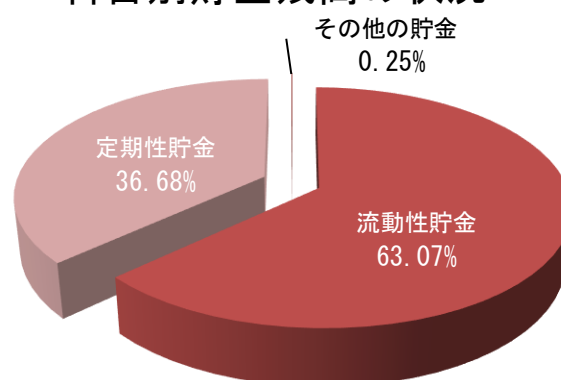
### (1) 貯金・定期積金残高

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりした貯金の残高は、77,899,324千円(うち定期積金の残高は、216,310千円)となっています。

### 資格別貯金残高の状況



### 科目別貯金残高の状況



## (2) 貯金商品

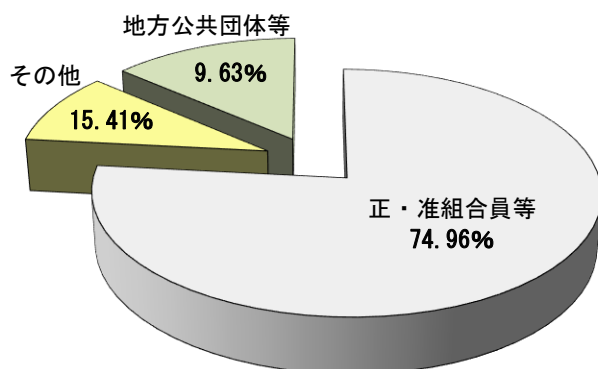
種 類	商 品 の 特 色
総 合 口 座	「貯める、借りる、支払う、受け取る」が1冊の通帳にセットされています。
貯 蓄 貯 金	預入残高に応じて段階的な利率を適用。流動性も高く大変便利な貯金です。自動支払、自動受取はご利用いただけません。
定 期 貯 金	J A がおすすめする貯金です。大切な資金運用に最適です。
財 形 貯 金	お勤めの方の生活設計のために給与・ボーナスから天引きし、計画的に貯蓄いただく貯金です。
当 座 貯 金	営業資金の決済口座として、手形・小切手をご利用いただける便利な貯金です。
通 知 貯 金	短期間の運用に最適な貯金です。
納 税 準 備 貯 金	国税・地方税の納付のための納税資金を準備する目的で預け入れる貯金です。
譲 渡 性 貯 金	大口資金の運用に最適で、譲渡することも可能です。
J A マル得定期貯金	年金受給者優遇金利を設定しております。

## 地域への資金供給の状況

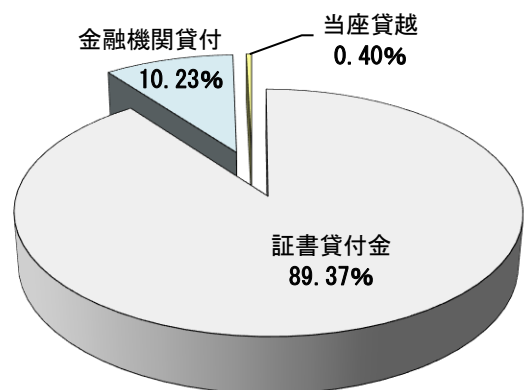
### (1) 貸出金残高

組合員をはじめ地域の皆さまへの貸出金の残高は、9,776,489 千円（うち地方公共団体等の残高は 941,456 千円）となっています。

#### 資格別貸出金残高の状況



#### 科目別貸出金残高の状況



## (2) 制度融資取扱状況

### I. 農業制度資金

種 類	資金の概要
かながわ都市農業推進資金	農業経営の省力化・合理化等に必要な資金を、県の利子補給によりＪＡが農業者等へ低利で貸付けする資金です。
日本政策金融公庫資金	農林漁業の生産力の維持増進に必要な土地改良や経営規模の拡大など経営基盤に関わる投資について必要な資金を貸付けする長期かつ低金利の資金です。

### II. 愛川町制度資金

種 類	資金の概要
農 林 業 経 営 安 定 資 金	農林業者の経営の合理化を促進し、農林業の振興をはかることを目的とした資金です。
勤 労 者 生 活 資 金	勤労者の福祉の増進および健全な生活の安定に資することを目的とした資金です。
中 小 企 業 事 業 資 金	商工業者の経営の合理化を促進し、その振興をはかることを目的とした資金です。



### (3) 融資商品

種 類	資金の概要
営 農 資 金	組合員の農業経営に係わる資金にご利用いただけます。
農 住 資 金	組合員の賃貸住宅・貸倉庫等の建築・修繕・増改築等に必要な資金にご利用いただけます。
事 業 資 金	組合員等が経営する事業に必要な運転・設備資金にご利用いただけます。
住 宅 資 金	住宅の新築・取得・増改築や住宅用の土地購入に必要な資金にご利用いただけます。
生 活 資 金	医療、冠婚葬祭、教育、生活改善などに必要な資金にご利用いただけます。
購 買 ロ ー ン	組合員が当組合を利用する生活に必要な資金にご利用いただけます。
J A 農 機 ハ ウ ス ロ ー ン	組合員が農業用機械・設備等を取得する資金にご利用いただけます。
ア グ リ マ イ テ ィ ー 資 金	組合員が設備資金から運転資金まで農業者の幅広いニーズにご利用いただけます。
J A 住 宅 ロ ー ン	マイホーム資金（住宅新築・取得・借換など）にご利用いただけます。
J A リ フ ォ ー ム ロ ー ン	マイホームの増築・リフォーム・太陽光発電設備などの資金にご利用いただけます。
J A 教 育 ロ ー ン	入学金や授業料などの就学資金にご利用いただけます。
J A マ イ カ ー ロ ー ン	自動車・オートバイの購入資金等にご利用いただけます。
J A フ リ ー ロ ー ン	多様な生活資金にご利用いただけます。

## 文化的・社会的貢献に関する事項

### (1) 文化的・社会的貢献に関する事項

○子どもたちに食の大切さや農業の意味、そして環境との調和や愛川町農業への関心を高めることを目的とした食農教育活動をＪＡ青壮年部と指導課職員により、町内の小学生を対象に行いました。



○ＪＡ県央愛川たすけあいグループ「あおぞら会」では、町内 13 会場、月 1 回開催を基本に、ふれあいサロンを実施しています。地域にお住まいのみなさんが気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をすすめています。ふれあいサロンでは、紙芝居、お琴、三味線の鑑賞などが行われます。



○ 6 月 13 日、春のゲートボール大会を開催しました。8 チーム 38 名の参加者により熱の入ったプレーが展開され、参加者たちは大会終了後に早くも秋の大会に向けた意気込みを語っていました。



## (2) 利用者ネットワーク化への取り組み

組織名	会員数	主な活動内容
年金友の会	883 名	支所単位の親睦旅行や全体での出前寄席など、多様な活動を行っています。

## (3) 情報提供活動

### ○広報誌「JAだより」の発行

JAの事業活動内容やキャンペーン情報など農協からのお知らせ、農業情報等を掲載し、定期的に組合員へ向けて発行しています。

### ○ホームページによる情報提供

JAからの重要なお知らせや暮らしに役立つ情報、季節ごとの身近な情報を組合員・利用者へ情報提供しています。

### ○Instagramを利用した情報提供

写真・動画を投稿し、旬の話題や地域の情報や魅力など、日々配信しています。

### ○デジタルサイネージによる情報提供

各支所・農産物直売所にデジタルサイネージを設置し、JA利用者にお得な情報を提供しています。

### ○JAグループ提供テレビ番組への協力

テレビ神奈川が放映する「かながわ旬菜ナビ」に協力し、愛川町の農業などを紹介しています。

## (4) 店舗体制

(令和7年8月末現在)

名 称	住 所	電話番号	A T M設置台数
本 所 総 務 部 信用共済部 指導経済部	愛甲郡愛川町中津 747 愛甲郡愛川町中津 747 愛甲郡愛川町中津 747	046 (286) 2111 046 (281) 7077 046 (286) 2110	—
中 津 支 所	愛甲郡愛川町中津 747	046 (285) 0002	2 台
高 峰 支 所	愛甲郡愛川町三増 891	046 (281) 1310	2 台
半 原 支 所	愛甲郡愛川町半原 1526	046 (281) 0193	1 台
農機サービスセンター	愛甲郡愛川町三増 891	046 (281) 5047	—
ふ れ あ い 旬 鮮 市 (農産物直売所)	愛甲郡愛川町中津 747	—	—
水 稻 育 苗 セ ン タ ー	愛甲郡愛川町角田 3167	—	—
ラ イ ス セ ン タ ー	愛甲郡愛川町角田 2427	—	—

\*半原支所は、貯金特化型店舗です。

## 2. 貸 借 対 照 表

令和7年8月31日 現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	77,374,470	1 信用事業負債	78,101,588
2 共済事業資産	104	2 共済事業負債	90,448
3 経済事業資産	10,253	3 経済事業負債	12,905
4 雑資産	91,290	4 雑負債	77,242
5 固定資産	912,224	5 諸引当金	109,520
6 外部出資	4,539,230		
7 繰延税金資産	13,141		
		<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>78,391,705</b>
		(純資産の部)	
		1 組合員資本	4,543,830
		(1) 出資金	425,045
		(2) 資本準備金	2,337
		(3) 利益剰余金	4,116,462
		(4) 処分未済持分	△14
		2 評価・換算差額等	5,178
		<b>純資産の部合計</b>	<b>4,549,008</b>
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>82,940,714</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>82,940,714</b>

### 3. 損 益 計 算 書

令和7年3月1日から令和7年8月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>事業総利益</b>	<b>393,209</b>
信用事業総利益	291,250
共済事業総利益	94,807
経済事業総利益	11,486
その他の事業総利益	▲4,335
<b>事業管理費</b>	<b>347,714</b>
<b>事業利益</b>	<b>45,495</b>
事業外収益	33,173
事業外費用	5,771
<b>経常利益</b>	<b>72,896</b>
特別利益	676
特別損失	657
<b>税引前当期利益</b>	<b>72,915</b>
法人税、住民税及び事業税	530
法人税等調整額	6,005
<b>法人税等合計</b>	<b>6,535</b>
<b>当期利益</b>	<b>66,380</b>
<b>当期首繰越剰余金</b>	<b>152,008</b>
<b>当期未処分剰余金</b>	<b>218,388</b>

#### 4. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：千円)

債 権 区 分		債権額	保 全 額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和7年2月末	70,003	52,894	2,324	14,784	70,003
	令和7年8月末	66,548	50,596	1,970	13,981	66,548
危険債権	令和7年2月末	9,771	9,771	—	—	9,771
	令和7年8月末	22,705	8,614	14,090	—	22,705
要管理債権	令和7年2月末	—	—	—	—	—
	令和7年8月末	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	令和7年2月末	—	—	—	—	—
	令和7年8月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和7年2月末	—	—	—	—	—
	令和7年8月末	—	—	—	—	—
小計	令和7年2月末	79,775	62,666	2,324	14,784	79,775
	令和7年8月末	89,253	59,211	16,061	13,981	89,253
正常債権	令和7年2月末	9,873,010				
	令和7年8月末	9,701,809				
合計	令和7年2月末	9,952,785				
	令和7年8月末	9,791,062				

(注)

##### 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

##### 2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

##### 3. 要管理債権

4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

##### 4. 三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

##### 5. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

##### 6. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

## 5. 単体自己資本比率

令和7年2月末	令和7年8月末
14.66 %	16.31 %

- (注) 1. 「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農水省告示第2号)に基づき算出しています。
2. 令和7年8月末の自己資本比率算定上、期末の外部流出予定額は未定であることから控除していません。

## 6. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	令和6年 8月 末	令和7年 2月 末	令和7年 8月 末	計画対比
貯 金	77,876,483	75,812,013	77,899,324	100.91%
貸 出 金	10,236,545	9,940,706	9,776,489	97.08%
預 金	62,911,856	57,758,848	60,198,331	103.67%
有 価 証 券	4,017,302	6,991,044	7,013,495	88.09%

- (注) 1. 計画対比は、年間計画と実績との対比です。  
2. 貸借対照表上の残高を記載しています。

## 7. 有価証券等時価情報

### ①有価証券

(単位：千円)

分 類	令和7年2月末			令和7年8月末		
	帳簿価格	時価	評価損益	帳簿価格	時価	評価損益
売買目的 有価証券	—	—	—	—	—	—
満期保有目的 有価証券	6,678,874	6,589,410	△89,464	6,706,345	6,247,450	△458,895
その他 有価証券	299,992	312,170	12,177	299,992	307,150	7,157
合 計	6,978,866	6,901,580	△77,286	7,006,338	6,554,600	△451,738

- (注) 1. 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。  
2. 帳簿価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券または  
その他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

以 上